大洲病院ニュース
OZU CITY HOSPITAL NEWS

発行：市立大洲病院
編集：広報委員会
〒795－8501
大洲市西大洲甲570番地
TEL0893-24-2151
FAX0893-24-0036

11月14日は『世界糖尿病デー』

world diabetes day
14 November

糖尿病の脅威が世界的に拡大しているのを受け、世界規模で糖尿病に対する注意を喚起しようと、国際糖尿病連合と世界保健機関が11月14日を**「世界糖尿病デー」**に指定しています。

最近の調査によると、糖尿病患者は日本だけでも1000万人を超え（予備群を含めると2210万人に上り世界第６位）、有効な対策を施さないと、糖尿病有病数は2030年までに２倍以上に増加すると予測されています。糖尿病と糖尿病合併症は、早期発見し治療することで予防・改善が可能です。糖尿病の治療をしないで放置していると、網膜症、腎臓病などの原因となり、心疾患や脳卒中の危険性も高まります。これらの疾患を予防するために、早期から生活習慣を健康的に変えていくことが必要です。

◆ 健康相談会を開催 ◆

世界糖尿病デーの啓発のため11月11日に八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研修会主催により、産直市「愛たい菜」において**「健康相談会」**を行いました。今回は、歯科医の久保先生に口腔ケアチェックを行っていただくなど内容も充実し、雨、強風にも関わらず市内外からお越しいただいた皆様の相談に対応することができました。

◆ 大洲城をブルーライトアップ ◆

世界糖尿病デー当日は、日本を含む世界中で、糖尿病の治療と予防を広く呼びかけるキャンペーンが展開され、世界中の有名建造物や観光地、行政庁舎などがブルーライトアップされます。当市でも、大洲糖尿病チーム医療研修会が中心となり、**「大洲城ブルーライトアップ」**を行いました。

市立大洲病院の理念

患者様に信頼される良質で安全・安心な医療を提供し、地域社会に貢献します。

〈第16号の主な内容〉

●世界糖尿病デー …… 1 P
●病院食に「ソフト」食を導入 …… 2 P
●災害医療コーディネータ委嘱 …… 2 P
●インフルエンザ …… 2 P
●外来待ち時間調査 …… 3 P
●院内ふれあいコンサート …… 3 P
●再就職支援講習会を開催 …… 4 P
●診療体制のお知らせ …… 4 P

市立大洲病院公式ホームページ　http://www.shikoku.ne.jp/och/

病院食に「ソフト食」を導入しました

当院では７月から病院食に「ソフト食」を導入しました。ソフト食とは咀嚼(そしゃく)困難食、つまり上手く噛んで食べられない方に対応した食事です。以前は「キザミ・ミンチ」などで対応していましたが、ソフト食としてご飯もおかずも、できたものを一度ミキサーにかけ再度プリン状に固めてお出しをしています。

煮　魚

≪冷しゃぶと芋粥≫

≪ロールキャベツと月見あんかけ≫

レンコンの白身はさみあんかけ

歯のない方、高齢者の方に少しでも多く食べていただけるよう、職員の試食会も行い意見を聞きながら、魚であれば魚の形にもこだわり、味も空きがこないようにしっかりと付けるなど、毎日、奮闘しながら調理をしています。

ソフト食を食べている患者様には、NST（栄養サポートチーム）が週１回ラウンドを行い、ご本人の声を直接お聞きし、お好みにそえるよう個々に対応しています。「おいしい。食べやすい。」のお声が、私たちの原動力にもなっています。

治療には、栄養を取り体力を付けることが必要であり、入院生活の楽しみが食事となりますよう、今後も工夫してまいります。

栄養管理室

災害医療コーディネータに李医局長が委嘱されました

災害時に、被災地で必要とされる医療が迅速かつ的確に提供されるよう、行政や関係機関と連携し、専門的見地から大洲喜多圏域の医療救護活動のコーディネートを行う**「災害医療（公立病院）コーディネータ」**に、当院の**『李 俊尚医局長（外科部長）』**が、平成24年10月１日付けで愛媛県知事より委嘱されました。

今後、李コーディネータが中心となり、行政機関や医療関係機関、防災機関等との情報交換・共有を進め、効果的な医療救護活動体制の構築を目指してまいります。

インフルエンザについて

感染した場合の症状は？

- 38度以上の高熱、悪寒、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状。セキ、のどの痛み、鼻水など。
- 発熱は３～５日続き１週間ほどで治ります。
- かかったかなと思ったら早めに医療機関を受診し治療を受けましょう（抗ウィルス薬は症状が出てから48時間以内に服薬することが必要です）。
- 子ども、高齢者、持病を持つ方は重症化する恐れがあります。

当院では感染拡大を防ぐため、流行時期には次のような対応をとらせていただきますのでご協力ください。

- ◆入院患者様への感染を防ぐため、一定の期間、面会をお断りすることがあります。
- ◆熱、咳、嘔吐、下痢の症状がある患者様は職員に申し出ください。
- ◆感染疑いの患者様は、発熱外来での診療になる場合があります。

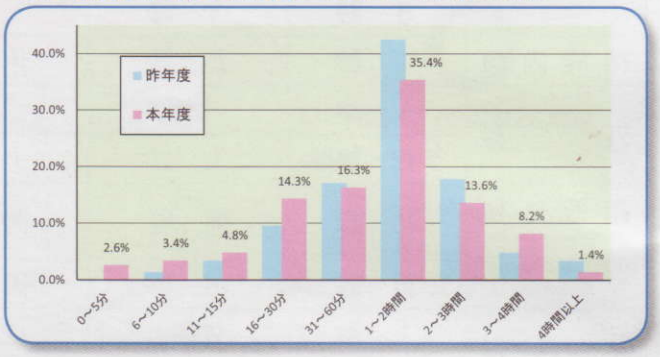
平成24年度 外来待ち時間調査

当院では、「患者様に選ばれる病院づくり」の一環として、待ち時間短縮に向けての工夫や患者様の満足度の向上を図ることを目的に、昨年度に引き続き待ち時間調査を実施しました。
その概要をお知らせします。

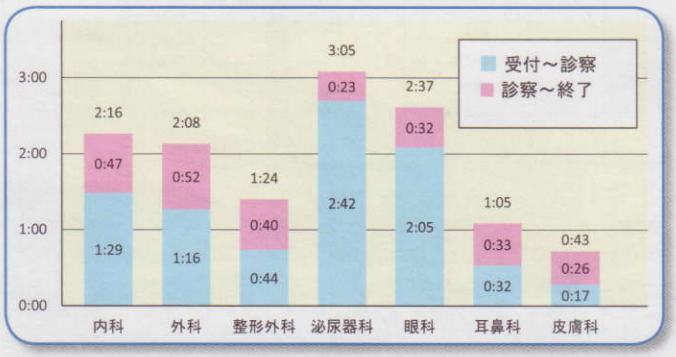
○**調査部門**　診療科（内科、外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、皮膚科）
各部署（薬局、リハビリ、レントゲン、検査、会計）
○**調査期間**　10月15日(月)～19日(金)　5日間
○**調査人数**　30名／日　計150名

○診察開始まで2時間以上お待ちいただく患者様の割合は、全体で26.0%から23.2%と2.8ポイント改善しました。
○全科平均の待ち時間は1時間24分で、診療科ごとの平均待ち時間は、下表のとおりですが、特に改善が見られた診療科は、
内　　科　1時間50分⇒1時間29分
整形外科　1時間14分⇒44分となってます。
○また、受付から会計終了までの全所要時間も、全科平均で2時間17分から2時間01分に改善されました。なお診療科ごとの所要時間は下表のとおりです。

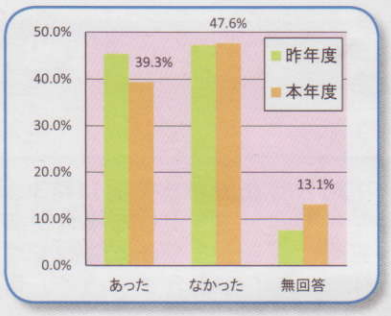
◆全診療科待ち時間（受付～診察開始）



◆診療科別所要時間（受付～終了）

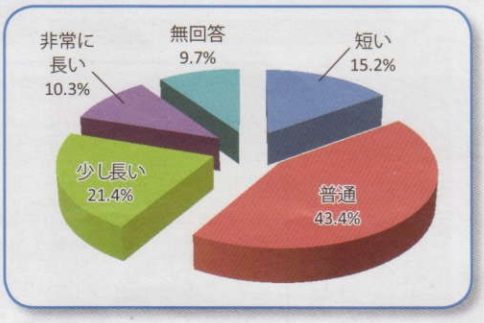


◆待ち時間への配慮

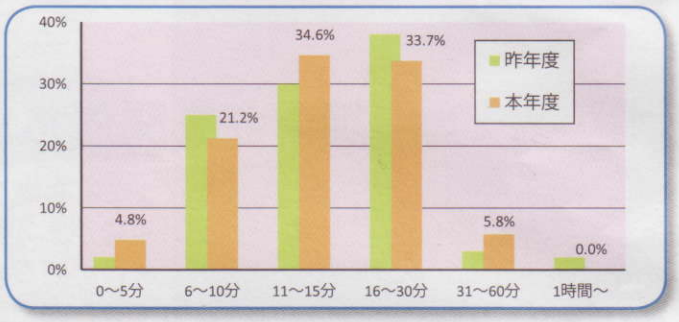


○待ち時間への配慮が「あった」と回答された患者様が45.3%⇒39.3％と6.0ポイント減少されました。今後、患者様が配慮があったと感じられるよう努力してまいります。

◆待ち時間の感じ方



◆薬局待ち時間



◇調査結果から今後の対応策を立案し実行してまいります。

この1年間「診察状況の表示の徹底」「初診の方には大まかな待ち時間をお伝えする」「待ち時間の長い方には外出や食事を促す」などの改善策を実施しました結果、若干ではありますが待ち時間と満足度とも改善が図られました。
抜本的な改善は、医師不足が解消されない限り困難な状況ではありますが、今後とも病院全体で待ち時間の短縮と満足度の向上に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

大洲病院ふれあいコンサート

11月16日(金)、1階中央待合室において、恒例の「ふれあいコンサート」を開催しました。地域に開かれた病院づくりの一環として、春と秋に開催しており、今回は「大洲オールドバンド」の皆さんに演奏をしていただき、入院・外来患者様はもとより、地域の皆様方にもご参加をいただきました。

診療体制のお知らせ

診療科／曜日		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	1診	谷口	谷口	谷口	谷口	谷口
	2診	中西	中西	徳本（肝臓外来）（第2,第4）	中西	
	3診	今峰		今峰	小幡	今峰
神経内科	1診	休診	休診	休診	岩城（月2回）	休診
外科	1診	李	李	手術日（予約のみ）	李	土居
	予約・検診	土居	土居		土居	李
整形外科 ※初診は、午前10時30分から診療開始	初診	間﨑	間﨑	田口	手術日（休診）	田口
	再診	田口	田口	間﨑		間﨑
泌尿器科 ※6	1診	佐藤武	佐藤武	佐藤武	佐藤武	佐藤武
	2診	佐藤秀	佐藤秀	佐藤秀	沢田	佐藤秀
眼科 受付午前10時30分まで	1診	休診	愛大医師	休診	休診	愛大医師
耳鼻咽喉科	1診	田口	休診	富所	休診	高木
皮膚科	1診	休診	佐山	休診	宇都宮	花川

※1　診療受付時間は、**午前8時15分から午前11時30分まで**です。
※2　緊急手術等により受付時間を繰り上げる場合があります。
※3　休診日は、土曜、日曜、祝日および年末年始です。
※4　担当医師の変更、休診の場合がありますので、事前に電話でお問い合わせください。
※5　整形外科の毎月第二火曜日は、愛媛大学　三浦教授による膝専門外来があります。
※6　泌尿器科の診療時間は透析・入院患者様対応のため、1診は9時45分、2診は10時45分からの診療開始となります。

市立大洲病院　☎0893－24－2151

再就職支援講習会を開催しました。

11月5～7日の3日間、看護部による「再就職者支援講習会」を開催しました。これは就業の希望がありながら、再就業に不安がある方を対象に就業のために必要な知識・技術を再確認し再就職に対して自信を持っていただく研修です。平成20年度より愛媛県看護協会と共催で実施しています。

今年度は1名の参加があり、現在の看護界の動向や看護倫理、医療安全、感染対策、看護技術研修や病棟実習も体験していただきました。16年のブランクがありましたがとても熱心に受講され再就職への意欲も高くとても満足していただきました。今後も地域の看護師不足解消の一助になるべく活動を続けていきたいと思っています。

大洲喜多休日夜間急患センター ご利用のお願い

急な発病などの軽症患者（一次救急）を受け入れる急患センターが、喜多医師会の全面的協力のもと、東大洲に開設されています。

大洲喜多休日夜間急患センターの適正なご利用をお願いします。

☎23－1156

①普段から健康診断の積極的な受診に心がけ、「かかりつけ医」を持つようにしましょう。
②診療体制の整っている通常の診療時間内に受診しましょう（コンビニ受診をなくしましょう）。